

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日
第3種郵便物認可 定価100円

市民活動を支える制度を強化しよう！

【2008年9月】



目次	ページ
NPO会計講座2日間コース/会計税務サポートサイト	2
広報クリニック/ブログ作成講座/NPO法人認証数	3
介護NPOセミナー/NPO推進北海道会議研究会 /NPO情報開示セミナー	4
NPO越智基金助成報告/交通バリアフリーサポート事業報告	5
NPO・NGO連絡会/NPOバンク融資スケジュール	6
インターンシップ便り	7
NPOサポート事業/札幌はこび愛ネット	8
NPOな・・・	9～10
情報BOX/助成金情報	11～12



9月13日(土) シンポジウム

『NPO法改正とNPO会計基準の確立に向けて』

日時：2008年9月13日(土) 14時～17時 参加費：1,000円

場所：北海道クリスチャンセンター2階ホール(定員80名程度)

札幌市北区北7条西6丁目(JR札幌駅北西口 徒歩7分)

内容：

基調講演(1400～15:20) 松原明氏 (NPO法人シーズ 常務理事・事務局長)

パネルディスカッション(15:30～17:00)

パネリスト

江田寛氏(非営利法人研究会理事：公認会計士)

畑山紀氏(非営利法人研究会理事：札幌学院大学商学部教授)

松原明氏(NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会常務理事・事務局長)

北村美恵子氏(NPO法人北海道NPOバンク理事・事務局長、北海道NPOサポートセンター理事)

進行役：瀧谷和隆氏(NPO会計税務専門家ネットワーク事務局長、税理士、APIジャパン理事長)

これまでの経緯：1998年12月にNPO法が施行され、今年で10年目となります。

これまでに幾度かの改正もありましたが、昨今公益法人制度や信託制度等の大幅な改正もあり、NPO法も新たなステージへと向かう時期に来ているかと思えます。

また、これまで、NPO法人の会計基準の議論も度々行われて、昨年からシーズとNPO会計税務専門家ネットワーク等で、NPO法人会計基準の論点整理などの作成準備も進めてきました。

今年度も引き続きこの議論を継続・発展させ、NPO法人会計基準の制定に向けて、行動に移して行ければとも思っています。

このような環境の変化の中、今後のNPO法改正とNPO法人の会計基準に制定について、その必要性や課題等について今回議論したいと考えています。

主催：NPO会計税務専門家ネットワーク 共催：NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会
後援：北海道税理士会

協力：NPO推進北海道会議、北海道NPOサポートセンター、NPO法人APIジャパン

問合せ・申込み 北海道NPOサポートセンター電話 011-204-6523 FAX011-261-6524

瀧谷メール Apitakiya@aol.com

申込み締め切り 9月10日(水)

メールの場合は、件名に「2008年9月13日シンポジウム」とお書きください。

事業名	遠隔地の方にも最適！ NPO会計講座のご案内 (決算書作成アドバイス付き)短期集中 2日間講座 2日間8時間講座 (第1回+第2回の合計8時間コース)
内容	毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。遠隔地の方も1泊2日で完結できるような日程を組みました。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題に取り組んでいただきます。 <u>講習時に使用する会計ソフトは「会計王9NPO Limited」です。</u> 会計ソフトを使ってパソコン入力の練習を行い、決算書の作成や、財務諸表の見方なども学びます。個別質問にお答えする時間も十分に用意し、それぞれの団体の実情に合ったアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。NPO会計に詳しい税理士によるアドバイスの時間も設けています。ぜひご参加ください。
対象	NPO法人の代表者、事務局長、会計スタッフ (参加対象者：パソコンの文字入力、マウス操作がスムーズにできる方)
講師	小沼千佳子, 中西希恵 (北海道NPOサポートセンター会計講座担当) アドバイザー 瀧谷和隆 (税理士/NPO法人APIジャパン理事長) 2日目最終講
費用	受講料：10,500円 (税込み、初回納入)
日時	9月18日(木) 13:00~17:00 2回とも参加可能な方対象 9月19日(金) 10:00~15:00 (途中昼食休憩あり) 初日・2日目とも 終了後個別相談に応じます。(居残り自習も可能です)
会場	北海道NPOサポートセンター会議室 (札幌市中央区南2条西10丁目 kuwagataビル)
定員	6人 (最小催行人員3人)
申込方法	申込締切：9月16日(火) 先着順 (定員になり次第締め切ります) 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524 メール npo@mb.infosnow.ne.jp 団体名、受講者名、連絡先電話をお知らせください。 メールの場合は、件名に「2008年9月会計講座」とお書きください。

NPO会計税務サポートサイトのお知らせ

NPOの会計・税務で困ったらまずは下記のホームページにアクセスしてみてください。

<http://npoatpro.org>

会計税務Q&A、会計書類の実例サンプル、都道府県情報、書籍・会計ソフトの紹介、イベント・研修案内、チェックリスト等、NPOの会計税務に関するお役立ち情報が得られます。あわせて、無料電話会計相談も行っています。サポートサイトを見ても解決できないときは、下記に電話してみてください。

TEL: 011-231-5825 (北海道NPOサポートセンター小沼(おぬま)まで)

電話相談対応日時：月曜日 10:00~12:00、水曜日・金曜日 10:00~17:00。

ご利用はNPO関係者に限らせて頂きます。個別の税務相談には対応できません。

電話料金は利用者の負担となります。

このサポートサイトは、財団法人国際コミュニケーション基金と中央労働金庫からのご支援により開設・運営しています。

NPO会計税務サポートサイトに関するお問合せ

NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク(略称：NPO@PRO)

事務局(サポートサイト)担当者：瀧谷(たきや)、Eメール：apitakiya@aol.com

NPO法人のための 広報クリニック

パンフレットやチラシ、情報紙や広報紙の作成でお悩みのことはありませんか？
せっかく、良い活動をしていても、伝える力がなければ、多くの人に活動を理解してはもらえません。
この講座では、事務局広報担当者などを対象に、広報活動のポイントを確認し、さまざまな広報媒体を活用した、より効果的な広報ができるよう、スキルアップを目指します。

日時： 9月24日(水) 13:30～16:30

会場：北海道NPOサポートセンター会議室

内容：現状の広報活動の問題点を洗い出し、改善策を考えます。また、実際にご自身の団体に伝えたい内容を、いろいろな方法で表現する「ミニワーク」も取り入れ、実践的な力が身につく内容を目指します。インターネットや映像などの活用についてのアドバイスもします。少人数の講座です。お気軽にご参加ください。

講師：加藤知美（北海道NPOサポートセンター理事、さっぽろ村コミュニティ工房）

参加費：3,150円（税込み） 定員：6名

申し込み締め切り 9月19日（金）先着順 定員になり次第締め切ります。

【問合せ・参加申込】 北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

メール npo@mb.infosnow.ne.jp

団体名、受講者名、連絡先電話をお知らせください。

メールの場合は、件名に「2008年9月広報クリニック」とお書きください。

NPO法人のための ホームページ（ブログ）作成入門講座 開催のご案内

団体のホームページをブログ形式で作ってみませんか。
無料で利用できる様々なブログサービスを紹介しながら、ブログの活用方法や
しくみが学べる少人数の講座です。お気軽にご参加ください。

日時：9月26日(金) 13:30～16:30

会場：北海道NPOサポートセンター会議室

内容：実際に「日本財団のコミュニティCANPAN」で団体のブログを作成する
ミニワークを取り入れました。

団体のイベント情報の資料や、デジタルカメラで撮影した活動写真なども
あわせてご持参ください。

講師：金城邦子、畑憲一（北海道NPOサポートセンターIT担当）

参加費：3,150円（税込み） 定員：6名

申し込み締め切り 9月19日（金）先着順 定員になり次第締め切ります。

【問合せ・参加申込】

北海道NPOサポートセンター TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

団体名、受講者名、連絡先電話をお知らせください。

メールの場合は、件名に「2008年9月ホームページ作成講座」とお書きください。

特定非営利活動法人の申請受理・認証数・不認証数・解散数

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 6月30日現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	36380	34941	490	2121
道内の申請受理数 7月31日現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	1463	1440	0	73

内閣府ホームページから <http://www.npo-homepage.go.jp/data/pref.html>
北海道ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/sbs/npo-kyoudou>

9月12日(金)午後
介護NPOセミナー

セミナー：『介護系NPOの会計税務』

介護保険制度や支援費制度などの福祉事業を行うNPO法人等を対象に、会計や税務の実務的な処理方法を分かり易く解説します。講師の岩永氏は、大阪ボランティア協会の監事を務めると共に、シーズの何でも質問箱では全国のNPOからの会計税務の質問に対応しております。

介護系のNPO関係者は勿論、会計税務の実務家や専門家並びに一般のNPOの役員や会計担当者などにも役立つ内容ですので、この機会に是非ご参加ください。

日時：9月12日(金)：午後2時～5時まで(予定)

場所：北海道クリスチャンセンター 2階ホール(定員80名程度)

札幌市北区北7条西6丁目(JR札幌駅北西口から北大南門方向徒歩7分程度)

講師：岩永清滋氏(公認会計士、NPO会計税務専門家ネットワーク理事、大阪ボランティア協会監事)

参加費：2,000円(資料代として) 申込み締め切り 9月10日(水)

主催：NPO法人エーピーアイ・ジャパン

共催：NPO推進北海道会議、北海道NPOサポートセンター、さっぽろ介護NPO支援ネット

問合せ・申込み 北海道NPOサポートセンター 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

瀧谷メール Apitakiya@aol.com

9月13日(土)昼
NPO推進北海道会議研究会

NPO推進北海道会議は、今年度、NPO法制定10年を迎え、NPO活動の今後に役立つ研究会を随時開催することといたしました。

第1回目を、シーズの松原明さん来札に合わせ、開催する運びとなりました。

NPO推進北海道会議代表の田口晃さんと松原明さんのお話を伺うことを中心に、参加者との意見交換を行いたいと考えています。テーマは「NPOのこれから」(特に12月スタートの新非営利法人・公益法人制度との関連)といった内容になります。

日時：9月13日(土)：昼11:30～13:00ぐらいまで(予定)

場所：北海道クリスチャンセンター 札幌市北区北7条西6丁目(JR札幌駅北口徒歩7分)1階喫茶

参加費：1,000円(昼食代込み) 定員10名(要事前申込み。先着順 締め切り9月10日(水))

主催：NPO推進北海道会議

問合せ・申込み 北海道NPOサポートセンター 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

9月16日(火)午後
情報開示セミナー

セミナー：『NPOの情報開示』

開催主旨 各団体の情報開示の重要性とポイントについて一緒に考え、企業からの助成・寄付や、行政との協働事業の掘り起こしに結びつけましょう。

事例や「支援しようとする側からの視点」を学んだ後、実際に「重要な項目」の表現について、演習してみましょう。さらに、日本財団が運営する無料の公益コミュニティサイト「CANPAN」に、ブログやミラーホームページを開設し、注目度、信用度を高めませんか。

日時：2008年9月16日(火)：13:30～16:30

場所：札幌エルプラザ公共施設 2階会議室3・4

札幌市北区北8条西3丁目(JR札幌駅北口地下道直結)

講師：川北秀人氏(IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表者)

荻上健太郎氏(日本財団 CANPAN 運営事務局ポータルプロジェクト担当)

定員：30名

参加費：1,000円(メールでのやりとりやインターネットでCANPANサイトにアクセスしていただくことが必要になります。)

主催：北海道NPOサポートセンター 共催：NPO推進北海道会議

協力：IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」、日本財団 CANPAN

問合せ・申込み 北海道NPOサポートセンター 電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524

申込み締め切り 9月12日(金)

(このセミナーは札幌市市民活動サポートセンター主催「市民企画講座」の一環として実施されます)

越智基金からの報告

8月26日に越智基金による助成を決定しました。今年は「ほしの里」から頂いた寄付10万円を指定助成として別枠で一件選んだほか、一般応募41件に対しては25の市民活動に100万円を分けました。様々な分野で活躍している方々がおられることを改めて実感した次第です。なかでは子育てサポートの活動が目立っていました。広く薄くという方針を取りましたが、活動の中身と財政、それから申請理由が具体的でない活動には評価ができないので助成していません。また、今回の助成に先立ち、5月21日にG8サミット市民フォーラム北海道に特別助成を行いました。非営利市民活動の国際版である市民サミットを支援すべきだと判断したからです。

北海道NPO越智基金 代表理事 田口 晃

2008年越智基金

《一般》 石狩市民図書館とあゆむ会ボランティア サークル	セルフサポートセンター浦河 地域再生ネットワーク北海道
えべつ協働ねっとわーく	とむての森
大人のADD&ADHDの会	「飛んでけ！車いす」の会
Casa(カーサ)Child-assist Sapporo Association	ピオトープ・イタンキ in 室蘭
くしろエコ・フェア2008 実行委員会	福祉サービス評価機構 K ネット
子育てさぼーとボコアポコ	福祉サポートきらきら本舗
子育て支援ワーカーズ ぐるんぱ	ふれあいインさるま
こどもサポートセンター「いま、ここ」	訪問型フリースクール「漂流教室」
サイエンス新企画	みんなのさぼーたーわっとな
G8市民メディアセンター札幌実行委員会	みんなのひろば ハンマダン
人材育成ネットワーク	ゆめみ～
住吉獅子舞保存会	よりそい倶楽部

《ほしの里基金(指定)》 札幌チャレンジド

平成20年度年賀寄附金配分助成事業 交通バリアフリーサポート事業 終了しました！

この事業は、8月3日～12日の10日間、JR札幌駅周辺において、主にバスの乗降介助や各交通機関ののりばに迷われている方などのサポートを目的にボランティアを募り、研修を経た上で介助・ご案内をするという道内初の試みでした。

研修は、NPO法人ボランティアサークル手と手のスタッフの講義と指導のもと、アイマスクをつけて歩行する視覚障がい者体験、車いすの乗車体験を通じて、移動に関する介助の知識を学ぶなど、座学と体験がバランス良く盛り込まれた内容でした。また、世界で一番複雑と揶揄されるJR札幌駅周辺において、知識がなくとも交通機関のご案内ができればよい作成したマニュアルを配布しました。

活動を終えた参加者からは、「点字ブロックの分岐点で迷っていた視覚障がいの方のサポートをして、とても感謝されました」、「大きな荷物を運びながらのりばをご案内したところ『これからの北海道の旅が楽しくなりそうです！』と何度も感激されました」という話もありました。

ボランティアの方々には、30代から70代までの幅広い年齢層から17名の方にご参加いただきました。サポートした内容はのりば等の案内が多かったのですが、市民のみなさんや札幌を訪れた方々にとっては、札幌をはじめ北海道の印象がずいぶん良くなったのではないのでしょうか。

今回の事業を通じて、ハードの充実だけでは本当のバリアフリーにはならないのだと思いました。参加されたみなさま、暑い中ありがとうございました。

(NPO法人 NPO推進北海道会議 松本公洋)

NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会 2008 年度 地域学習会

12月1日をもってNPO法施行10周年を迎え、新しい公益法人制度が施行される2008年度、全国各地域の支援センターとNPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会が連携して、「NPO法改正について」、「認定NPO法人制度について」、「公益法人制度改革について」など、最新の議論をテーマに全国で学習会を開催します。

『NPO/NGO に関する税・法人制度改革連絡会』とは

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会は、特定非営利活動促進法（通称NPO法）に関する税制改革と法人制度改革について検討し実現する運動体として、全国のNPO/NGO支援団体28団体が参加し1999年6月8日に発足しました（現在40団体が参加）。

1999年10月に「NPO/NGOの優遇税制に関する提案」を発表し、2000年2月には賛同署名をNPO議員連盟に対して提出しました。また、2000年秋には、全国18ヶ所で集会を行い、各開催地で国会議員も交えて議論を重ね、その結果、2000年末に新しい「認定NPO法人制度」の導入が決定され、2001年の10月1日から施行されることになりました。

しかしながら、この制度の「認定」を受けるための要件が厳しすぎ、ほとんどのNPO法人が認定を受けられないということから、連絡会では2004年10月から11月にかけて、全国14ヶ所で制度改革を求めて講演会を実施。併せて2597団体（対象9689団体中）から署名を集め、同年11月に改正要望活動を行いました。また、2007年には「認定NPO法人制度の改正に関する要望書」を取りまとめ、与野党、各省庁に提出しました。

その結果、認定要件の一部が改正されるという一定の成果を得ることができました。しかしながら、未だこの認定要件は厳しく、認定NPO法人の数に顕著な増加は見られません。認定を受けているNPO法人の数は全体の0.2%と、早急な見直しが必要とされています。

また連絡会では、公益法人制度改革において、NPO法人の発展が阻害されないよう、全国のNPO/NGOとともに活動を展開しています。

[2008 年度に各地域で実施予定の地域学習会]

北海道ブロック 主催：NPO 推進北海道会議 実施日：9月13日（土）	東北ブロック 主催：せんだい・みやぎ NPO センター 実施日：12月（予定）	関東甲信越ブロック 共催：まちづくり情報センターかながわ 横浜市市民活動支援センター運営委員会 実施日：10月 or 11月（予定）
東海・北陸ブロック 主催：市民フォーラム 21・NPO センター 実施日：12月 or 1月（予定）	九州ブロック 主催：NPO ふくおか 実施日：10月19日（日）（予定）	:実施時期については変更になる場合があります。その他、学習会の講師、テーマ、日時、場所については確定次第、各主催団体から広報される予定です。

[NPO法施行10周年記念イベント（仮称）]

今年12月1日がNPO法施行10周年にあたることから、記念イベントを連絡会主催で実施します。
 実施日：2008年12月1日（月） 実施場所：東京

8月1日（金）午前10時 石狩市の花川北コミュニティセンターの一角に「**ぼぼらーと**」（石狩市市民活動情報センター）がオープンしました。ここの特徴は石狩市民図書館とリンクした図書の蔵書と貸し出しです。NPO法人ひとまちつなぎ石狩が指定管理者として運営にあっています。

詳しくは → <http://popolart.net/>
「ぼぼらーと」石狩市市民活動情報センター
 〒061-3213 石狩市花川北3条2丁目（北コミ内）
 TEL:0133-77-70770 FAX:0133-77-7071
 指定管理者 NPO法人ひとまちつなぎ石狩

国立ひだか青少年自然の家の方が来訪されました。（昨年度実施・女性の学び事業でお世話になった方です）合宿研修会などに最適の施設が整っているとのこと、11月～4月は利用が少ないので、是非利用して欲しいとのこと。12月28日～1月4日以外は年中無休。1人1泊なんと250円と格安です。（学生や青少年は無料もあり）立地は日高町字富岡で、札幌 帯広を結ぶ国道274号線から近いところです。（札幌・旭川から120km、帯広から90km）JR石勝線占冠駅からバスで25分。詳しくは <http://hidaka.niye.go.jp/>

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第25回融資 申込期間2008年10月17日～10月31日 / 融資実行12月中旬以降

* 上記日程はあくまで予定です。詳細はホームページでもお知らせしています。 <http://npobank.dosanko.org/>

インターンシップを経験して

特定非営利活動法人北海道 NPO サポートセンターで、先日10日間のインターンシップを終えたインターン生の感想です。

私は北星学園大学の社会福祉学部福祉計画学科に所属する3年生で、8月に10日間、北海道NPOサポートセンターでインターンシップをさせていただきました。大学におけるインターンシップ参加説明会の段階では、まさか研修先がNPOになるとは思っていませんでしたので、マッチングの未だに研修先が決定したときは新しい世界を知ることへの期待と高揚感、そして現在の自分の能力が社会で通用するののかという若干の不安が交錯している状態でした。

北海道NPOサポートセンターときいて正直初めはあまりピンと来なかったのですが、研修前に概要の説明をいただいたおかげで、おおよその枠組みを理解することが出来、また多岐にわたる活動に非常に興味を抱きました。

10日間の研修は実に充実したものでした。郵送物の作成や、図書整理、印刷作業、FAX送付、データ入力など、毎日事務所内において様々な作業をさせていただいたのですが、仕事を任せられる度にずしんと感じる責任感は、とても

新鮮なものでありそれと同時に緊張感をももたずにはいられていませんでした。

どんな小さな作業であっても一つひとつに意味があり、結果として組織全体の効力に繋がる。当然ですが、このことを意識して仕事を行うと、各作業がさらに有意義なものとして捉えられ、何より一つひとつがとても面白く感じました。

また研修の最終日には、地域CSRセミナーの司会進行役を務めさせていただき大変貴重な経験となりました。セミナーに携わることで、また一歩違った視点からサポートセンターの活動を知ることができ色々勉強になる面も多く、今後の学生生活における新たな目標を見つけることができたような気がします。

お忙しい中インターンシップを受け入れ、何も知らない自分に丁寧かつ的確にご指導をくださった職員のみなさん、本当にありがとうございました。

(北星学園大学社会福祉学部 元岡麻耶)

夏

休みの間の10日間、北海道NPOサポートセンターでインターンシップをさせていただき、先日無事に終了することができました。最初は「NPO」という言葉の意味も知らず、どのような仕事をしているのだろう、普通の企業と何が違うのだろうと疑問が多い状態の中でインターンシップが始まりましたが、この10日間で私なりにNPOについての知識は深められたかと思えます。NPOの活動により助けられる人はたくさんいるので、これから先NPOの存在を多くの人に理解してほしいです。

また、インターンシップの間に色々な仕事をさせていただき、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。10時から18時までの勤務ということでしたが、本当にあっという間に時間が過ぎてしまったと感じるほど、仕事に集中出来たと思えます。最終日にはCSRセミナーの司会を務めさせ

ていただき、今まで味わったことのない緊張を感じました。ですが、こういった経験も自分を成長させる一つのきっかけであったと思います。

職場の雰囲気もとても温かく、楽しく仕事をする事が出来たのも良かったです。NPOサポートセンターで働く方々は、それぞれの人が自分の仕事をしっかりと持ち、自分から率先して動いていました。私はそのような姿を見て、「働く姿勢」というものは何かを学び、働くことの格好良さを学びました。一生懸命仕事をしている人達の姿を見ながら、自分も一緒になって働けたことを嬉しく思います。インターンシップで経験したことは、これから控える就職活動に必ず活かされると信じています。10日間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました！

(北星学園大学文学部 新藤真奈)

SSCSインターンシップだより

8月21日地域CSRセミナーが札幌エルプラザにおいて開催されました。参加した北海道NPOサポートセンターのSSCSインターン生の感想です。
*SSCSとは、東京の市民社会創造ファンドによるインターンシッププログラムです。

私

私は中国からの留学生です。今は北星学園大学の経済研究科の修士一年生です。北海道NPOサポートセンターのインターンシップとして、8月22日に北海道NPOサポートセンターが主催したCSRセミナーに参加しました。

企業の社会的責任、あるいはCSRは、社会の一員としての企業にとって重要なテーマになっています。今中国は途上国として、社会的責任についてあまり関心がなかった中国企業はまだたくさんあります。特に環境のカテゴリーにおいて、先進国に比べて不足はまだいっぱいがあると痛感します。日本企業にCSRの現実への関心を持って参加しました。

ダイバーシティ研究所からの田村先生の発言によって、ISO26000(組織の社会的責任)という国際標準は初めて耳にします。「企業だけではなく、NPOも地域全体の価値向

上に役に立てます」インターン生として活動して以来、地域づくりにおいて、NPOの役割の重要さは深く体得しました。NPOサポートセンターの一員として、誇りを感じます。

リコーグループの「三愛精神」(人を愛し、国を愛し、勤めを愛す)を聞いて、非常に感動しました。みんな三愛をしたら、この社会はきっと協和になるでしょう。持続的発展を目指す企業として、SRを大切にすることは特別に重要だと思います。

先日、中国四川省の大地震において、日系企業は続々と寄付金を出しました。これも海外に日系企業はCSRを重視するアクションだと思います。

三時間のセミナー、本当にいい勉強になりました。

(北星学園大学経済研究科 呂 慧子)

企

業の社会的責任(以下、「CSR」と呼ぶ)を最初に知ったのは、4年前の大学の講義でした。その当時から、大手の企業はCSR報告書や環境報告書を自発的に作成して、一般市民が求めれば個別に会社負担で郵送を行っていました。そのため、本業が安定している大手企業ならではの活動だと思ってました。しかし、当セミナーを受講して、現在は中小企業でさえもNPO、他企業、地域全体を巻き込んだ多様の

な活動を行うことで、CSRを果たすことが可能であると知りました。それらの人々が、繋がる橋渡しを北海道NPOサポートセンターは担っています。そこでインターンをしている私も、社会責任を果たす一つの歯車なんだと気づきました。私一人の力は微力であっても、一人でも多くの人を巻き込んで大きな力を生み出す、そのような手助けをしたいと思いました。(北海道大学会計専門職大学院 森 秋之)

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話 011 - 204 - 6523 2007.5.1 改定(単位:円 税込)

サポートの内容	詳細	規格・単位	料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談30分無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)		基本料金	21,000~
NPO法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
簡易印刷機(リソグラフ) 使用料金 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	予約が必要です。詳細はご相談下さい。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります) A3まで印刷可、10枚以上~ (両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 初回のみ下記料金が別途かかります。 片面初版代:315円 両面初版代:525円 ロゴ等画像1個につき210円	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。 インク代は別途かかります。	片面のみ	1,575~/m
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	84円から
組織運営相談 会計相談・経営相談	個別にご相談をお受けします。		
NPO法人解散手続き	書類作成サポート	基本料金	21,000~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険関係について、NPOサポート専門家等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じて専門家のアドバイスをいただいています。弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、ファイナンシャルプランナーなどの専門家の協力を得ています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク、NPOバンク事業組合 / 北海道NPO越智基金
 〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
 電話番号011-204-6523, FAX番号 011-261-6524
 通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)
さっぽろ介護NPO支援ネット / 北海道NPOサポートセンター分室
 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階
 電話番号 011-242-4333, FAX番号 011-281-8807
 通常業務時間 9:00~17:00(月~金)(土、日、祝日休み)

団体ブログ
 NPO推進北海道会議
<http://npo-suisin.dosanko.org/>
 北海道NPOサポートセンター
<http://npo.dosanko.org/>
 NPOバンク
<http://npobank.dosanko.org/>
 北海道NPO越智基金
<http://fund.dosanko.org/>
 さっぽろ介護NPO支援ネット
<http://www.community.sapporocdc.jp/comsup/sien-net/>

引越し・旅行・車検のことなら**・札通“はこび愛ネット”**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んでけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札通さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの?申し込みはとても簡単。下記の“はこび愛ネット”推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札通トラベル)、車検・自動車修理(札通自工)と文房具(札通商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札通“はこび愛ネット”推進事務局
 TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063
<http://www.sattsu.co.jp/hakobiai/hakobi.htm>

**業務案内 さっぽろ介護NPO支援ネット
業務案内**

1. 介護事業所の指定申請及び届出書類作成支援を行っています。
指定介護保険事業所 指定障害福祉サービス事業所
2. 福祉有償運送登録申請及び変更届出書類作成支援を行っています。
道路運送法 79条登録・変更届出
車両に表示する「福祉有償運送車両」等のマグネットステッカー
3. 介護事業所運営に係るご相談を承っております。
事務所に整備すべき書類 職員配置
説明会資料ダウンロード等
4. レセプト代理請求を行っています。
介護保険 介護報酬請求
障害者自立支援 介護給付請求
5. 高齢者賃貸マンションのご紹介をしています。
安否確認のサービス付の賃貸マンション(札幌市内3ヶ所)
6. 介護従業者対象研修会等を企画実施しています。

お問い合わせは下記へ

NPO法人 さっぽろ介護NPO支援ネット

【業務日】月曜日～金曜日(祝日休み) 9時～17時
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル 8F
TEL011-242-4333 FAX011-281-8807
E-mail sapporo-kaigo@npo-hokkaido.org

書籍案内 NPO法人をつくりたい方向け

『NPO法人設立申請書類 記入マニュアル』

NPO法人格取得のための最新申請情報です。

申請書類の詳細な情報を掲載。記入例のCD-R付。

定価 1,000円(税込み)

提出書類一覧

申請に必要な書類 記載例

資料編

特定非営利活動促進法をはじめ
施行条例、施行条例規則の最新施行版を掲載。

併せて、北海道NPOサポートセンターも作成に参加した『知っておきたいNPOのこと-NPO基礎知識Q&A』(日本NPOセンター発行300円)もご覧下さい。

ご注文・お問い合わせは

北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

下記のホームページURLからも注文できます。

<http://npo-hokkaido.org/cart/cart.cgi>



NPOな...

新刊本のお知らせ*****

『さっぽろ 会議室のほん』(2007年版)

北海道NPOサポートセンターでは、札幌市内の貸会議室情報を集めたガイドブックを2001年より発行しておりますが、この度2007年改訂版を発行いたしました。市民活動にお役立てください。

- ・貸会議室 58ヶ所
- ・宿泊付会議室 19ヶ所
- ・区民センターや体育施設の会議室の一覧

その他車いす対応のマーク等、便利な情報満載です。

発行 北海道NPO
サポートセンター
定価 525円(税込)



ご注文・お問い合わせは

北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

下記ホームページからも注文できます。

<http://npo-hokkaido.org/cart/cart.cgi>

書籍案内 『NPOの参考書』

NPO法人必携の一冊

NPO法人向け諸届出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・設立登記(法務局)
- ・登記完了届(道庁)
- ・変更登記(法務局)
- ・事業報告書等の提出(道庁)
- ・任期満了に伴う役員の変更(法務局と道庁)
- ・任期途中の役員の変更(法務局と道庁)
- ・事務所移転(法務局と道庁)
- ・定款の変更(法務局と道庁)

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円(税込)



【問合せ】北海道NPOサポートセンター

TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

恵庭市 まちづくり市民講座
～市民と行政、ともに育てる「協働～」

「 有料化」 サービスの廃止」・ちょっと待って！
その前に行政のムダをなくしたり、改革すべきことがある
のではないのでしょうか？
市民のニーズと市役所の提供する公共サービスのギャップ
が広がっています。
きびしい財政状況ですが、いま必要なことは何を残し、何
を削るかではありません。
市役所の役割を見直し、
市民と行政がどう役割分担し、「協働のまちづくり」を進
めていくかです。
このまちの将来の大事なキーワード「協働」。
本講座では、その共通理解を図り、
市民と行政がともに「協働」を育てていく方策を考えます。
*参加費/無料

講師 川北 秀人さん
人と組織と地球のための国際研究所 (I I H O E) 代表

と き) 9月16日(火)午後6時30分～8時30分
ところ) えにわ市民プラザ・アイル
(恵庭市本町110番地)

主催 えにわ市民プラザ・アイル
(お問合せ TEL0123-39-3355)
共催 北海道NPOサポートセンター
後援 恵庭市

マイマップの制作承ります！

団体紹介のリーフレットやイベント案内のパンフ
レットに載せる略図や地図の制作って、意外と面倒で
すよね。

交通倶楽部ゆうらんでは「なまら便利なバスマッ
プ」等の制作ノウハウを活かして地図の制作を承りま
す。(通称“マイマップ”)

おねだんは、シンプルな略図の場合はL版程度で
2,100円(税込み)から。データは各種媒体でお届
けいたします。

(メディア、送料別)

なお、イラストマップなど
はできかねますので、あらか
じめご了承願います。

まずは、お問合せを！



NPO法人 交通倶楽部ゆうらん (サンプル)
〒060-0062
札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
北海道NPOサポートセンター内
TEL&FAX 011-233-0090
Eメール koutsuukurabu@yourun.net
URL http://www.yourun.net



NPOな...

その2

書籍案内 新刊本のお知らせ*****

「手から手へ」
飛んでけ！車いす 1600台の笑顔

海外旅行のついでに車いすを持って行ってもらう。エコロ
ジーでエコノミーなボランティア！「飛んでけ！」の10
年。活動のあゆみ「国内で不要になった車いすを、国外の
車いすを切実に必要としている人に一つひとつ手渡しす
る」過程の中で多くの人々がかかわり、それぞれがいろい
ろなことを感じ、知り、考える。こうして広がっていった
「学び」を伝えていきたい。「飛んでけ！車いす」の会

【図書コード】ISBN978-4-87739-145-4

【定価】1,575円(消費税込み)

【編著者】吉田 三千代

【発行】「飛んでけ！車いす」の会

【発行日】2008年5月15日

【発売】共同文化社

【印刷】株式会社 アイワード

【購入・問い合わせ】

書店または下記まで

「飛んでけ！車いす」の会

電話：011-242-8171



書籍案内*****

ブレーメンの挑戦
～新福祉論が目指すまちづくり

官主導から民主導への「健康

福祉千葉方式」の実践

序文 千葉県知事 堂本暁子

第1楽章 とてもはたらきもの

ロバがいました

第2楽章 そうだ！ブレーメンに

いって音楽隊にはいるう

第3楽章 ロバ、イヌ、ネコ、オン

ドリが力をあわせて

第4楽章 いつまでも仲良くくらし

ました

【定価】2,000円(消費税込み)

【図書コード】ISBN978-4-324-07922-5

【編著者】ブレーメンの挑戦編集委員会

【発行】ぎょうせい

【発行日】2007年12月24日

【購入・問い合わせ】書店または下記まで

北海道NPOサポートセンター

北村 電話 011-204-6523 FAX011-261-6524



情報BOX

【白老】「ラブアースの森づくり」

白老町の「ラブアースの森」で、ミズナラ、アオダモ、ホウ、カツラ、イタヤカエデなど、北海道の森で拾った種から育てた苗約400本を、ダンボールのリサイクル植樹ポット「カミネッコ」を使って植樹します。

昼食は森の中でジンギスカンとバーベキュー。白老牛の試食も予定しています。そして秋のウヨロ川沿いのフットパス(歩行者用の小道)を歩けば、サケの遡上と産卵の感動のドラマを見ることができます。

申込方法 直接お電話ください TEL 011-521-4660
申込期限 9月5日まで

日時 9月13日(土)10:00~16:00頃(白老町)
札幌からの送迎バス 8:00発 18:00着

場所 白老郡白老町字石山
ウヨロ環境トラスト保全管理地
「ラブアースの森」(トラストの森:ウヨロ小屋集合)

参加料 一般1,200円
きたネット会員・白老町民1,000円

持ち物 おにぎり、飲み物、食器、はし、長靴、軍手
雨具など

[問合せ先] ☎064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-6
彩木ビル2F

NPO法人 北海道市民環境ネットワーク事務局
Tel 011-531-0482 Fax 011-531-0483
E-mail office@kitanet.org

【札幌】家族きのこと観察会

菌類(きのこ)は森の中でひっそりと生活していますが、自然界における生態系の中で重要な役割を果たしています。

- ・きのこが落枝、落葉を元素に分解することで、森林全体の養分の「リサイクル」の出発点となっている腐生菌。
- ・きのこが木と共生、外生菌根形成することで、「森林を健全」に育てている共生菌。
- ・きのこが木に寄生することで木が枯れ、木の間引きや「森林の更新」、若返りを助ける寄生菌。等があります。

藻岩山きのこ観察会は、参加者の皆さんにきのこの知識を深めていただき、天然のきのこを安心安全に食べることでだけでなく、森林浴をしながら家族で森を歩き、きのこを手探りに採って楽しく学ぶ集い、きのこ自然環境学習もしております。

中学生以上の大人、お一人でのご参加もOK!!

日時 9月28日(日)9:00~12:00
開催場所 旭山記念公園、旭山都市環境林
集合 旭山記念公園森の家前(札幌市中央区界川4丁目)
講師 栄坂貞夫、小林考人
参加費 大人500円、子供300円、幼児無料
(保険代、きのこ汁代含む)
申し込み 不要、直接おいで下さい。

[問い合わせ先、主催] NPO法人藻岩山きのこ観察会
Tel/Fax 011-631-8344(中田)
E-mail nakata.03-m.k.k@jcom.home.ne.jp
http://www.community.sapporocdc.jp/comsup/m-kinoko/

【札幌】高齢者問題セミナー

地域住民に見える高齢者支援を考える
- 高齢者の生活を保障する仕組みづくりを -

介護保険制度がスタートして8年目を迎えました。平成18年には、少子高齢化社会を見据え、課題対応のために介護保険制度が改正され、介護予防体制の推進、地域包括支援体制の構築が目指されています。そこで、当協会がこの3年の間に実施した調査研究事業の中から、研究代表者前沢政次氏、橋本伸也氏、杉岡直人氏、白戸一秀氏に、調査研究結果を基に、地域における高齢者支援の実態と課題、そして課題解決へ向けての提言をしていただき、地域住民が納得し、期待する支援体制について考えます。

日時 10月17日(金)13:30~17:00

受付 13:00~(4階大会議室前)

場所 道民活動センター(かでの2・7)4階大会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
TEL011-204-5100(内線36-132・133)

*駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

主催 財団法人 北海道高齢者問題研究協会

後援 北海道、札幌市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会、財団法人北海道老人クラブ連合会

参加対象 福祉施設・団体職員、自治体関係職員、その他高齢者問題に関心のある方

定員 200名(定員になり次第締め切らせていただきます)

資料代 500円を当日いただきます。ただし、当協会の賛助会員は(団体会員の場合、その関係者を含み)無料です。

申込方法 申込書をファックス、郵送又は電話でお申込みください。*申込書は下記URLからダウンロードできます。

締め切り 10月10日(金)

[お問い合わせ] ☎060-0042 札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館5階

財団法人 北海道高齢者問題研究協会

TEL 011-222-6727 FAX 011-222-6950

URL <http://www.koukenkyo.or.jp>

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOのために、IT推進NPOの紹介、パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援、助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)詳細はお問い合わせください。TEL 011-204-6523(担当:畑)

赤い羽根共同募金助成金 (2008年度分)

締切日:9月30日(火) 必着

赤い羽根共同募金では、公の援助を現に受けていない先進的で開拓的な草の根の住民福祉活動を応援するため、「公募」により活動資金を助成いたします。

【基本的な考え方】

次のような先進的・開拓的な草の根の住民福祉活動を応援します。

- ・現状の活動に甘んじることなく、福祉的な課題を先取りしていきような、または、より高い目標を目指していきような活動
- ・住民の参加、協力により行政依存ではなく独自性をもって自ら問題を解決していきような活動

《対象となる活動団体・グループ》

北海道内で活動する住民団体やグループで、活動実施に必要な資金の確保に困難をきたしていること。

- ・自主性・非営利・公開を原則とすること。
- ・自主性～特定の企業、政党、宗教団体などから独立して運営されていること
- ・非営利～その活動・事業から生じる利益を構成員に分配しないこと
- ・公開～活動の内容や財務の状況を自ら積極的に公開すること

《助成の対象となる費用》

活動のために必要な会議費、研修費、備品・機材等の購入費、PR資料などの作成費、また活動団体の運営に最低限必要な経費とします。

今回の助成は、平成21年3月末までに実施される活動を対象とします。

《助成の対象として認めない費用》

- 飲食費またはそれに類するもの。
- 講師謝礼、報酬、人件費（時給・日給等）など。
- 建物の増改築、付帯設備等の整備に関するもの（活動実施に不可欠な増改築及び機械・機器の設置に係る必要最低限の付帯設備整備についてのみ認める）。
- 高額、高機能なOA機器、作業機械、備品、物品等（寄付者に納得されうる範囲で機種選定の見直し等の対応をはかる）。

研修旅行費、高額な交通費等（特に必要と認められるものについて実費のみを対象とする）。

《助成限度額》

1団体50万円を限度とする（活動に必要な額を千円単位で要望すること）

【応募の方法】

応募用紙に必要な事項を記入し郵送して下さい。また、お知り合いで推薦する団体・グループがある場合は連絡先等をお知らせ下さい。

郵送先/問い合わせ先：北海道共同募金会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2.74F
TEL 011-231-8000

【決定・助成の実施】

一般住民代表による選考委員会において、活動の内容等を勧告し、それぞれ決定します。（選考の結果、助成金額が要望額よりも減額することがあります）

決定の通知～11月下旬ころ

助成金の支払い～決定より1ヶ月以内

【報告】

助成を受けた団体は、実施された活動の報告書（所定のもの）を提出いただきます。また、必要に応じて報告会への出席をお願いします。

損保ジャパン 社会福祉「自動車購入費助成」

締切日：9月30日（火）消印有効

- 対象 主として障がい者の在宅福祉活動団体
- 助成金額 自動車購入費1件100万円（総額1千万円）
（購入予定車両の本体価格の2分の1以内）
- 助成 12月予定

【問い合わせ】財団法人 損保ジャパン記念財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

損保ジャパン本社ビル37階

TEL 03-3349-9570 FAX 03-5322-5257

財団法人国際コミュニケーション基金

締切日：10月20日

主に情報通信に関連する調査研究や国際会議開催および情報通信を通じて社会に貢献する活動、国際間の理解促進を目的とする活動等に対し助成されるものです。

助成金額

調査研究助成 1件あたり300万円まで（10件程度）

国際会議開催助成 1件あたり100万円まで

（10件程度）

社会的・文化的諸活動助成 1件あたり100万円まで

（10件程度）

詳しくは、ホームページをご覧ください。

URL：<http://www.icf.or.jp/information/>

【問い合わせ】財団法人 国際コミュニケーション基金

〒108-0075 東京都港区港南2-16-1

品川イーストワンタワー

TEL 03-6716-1181 FAX 03-6716-1186

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃（北海学園大学教授）

杉岡 直人（北星学園大学教授）

杉山さか彥（北海道グリーンファンド 理事長）

事務局長 佐藤 隆

<http://npo-suisin.dosanko.org/>

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さか彥 事務局長 小林董信

<http://npo.dosanko.org/>

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人 事務局長 北村美恵子

NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

<http://npobank.dosanko.org/>

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

<http://fund.dosanko.org/>

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp